

平成30年度 第10回豊南地域会議 会議録

- 日時 平成30年12月20日(木) 午後6時30分～午後8時30分
- 場所 豊南交流館 1階 大会議室
- 出席者 <委員>市川 繁 奥村 学 片桐 弘 鷹見 喜仲
瀧上 久 橋 寿一 内藤 正康 西口 武彦
林田 賢士 堀 恵子 松岡 ミネ子 三尾 良介
宮川 尚子 吉森 則雄
<欠席者>坂田 一浩 杉浦 百恵 三浦 智 山内 悟
<交流館>梶 いづみ (豊南交流館長)
<事務局>小澤 都司子 (拳母事務所長兼地域支援課長)
中根 裕之 (地域支援課副課長)
梅村 剛 (地域支援課担当長)
勝上 奈津希 (地域支援課主事)

■次第 開 会

豊田市民の誓い唱和

会長あいさつ

- 1 前回の振り返り
- 2 わくわく事業について
- 3 地域予算提案事業について
 - (1) 豊南地域の交通安全意識に関する調査(アンケート)について
 - (2) 平成30年度地域予算提案事業について
 - 【啓発部会】子どもに向けた交通安全啓発
みどり線の啓発
 - 【運動部会】高齢者に向けた交通安全啓発
ハンドアップ運動
 - 【計画部会】平成31年度からの防災事業について

閉 会

■議 事 (要約)

- 1 前回の振り返り
前回地域会議での協議内容を確認した。
 - 2 わくわく事業について
今年度の審査会等を振り返り、来年度以降の申請に向けた見直しについて協議した。
- ◆ 主な意見等
- ・申請時のプレゼンは、活動の目標や計画を中心とした内容にできないか。

- ・ 質疑応答の時間を長く取れると良い。
- ・ 申請に関して、申請書やプレゼン資料等の作成が面倒だという声をよく聞く。
- ・ 申請資料に添付する見積書を省略できると申請しやすくなると思う。
- ・ 少額の場合、自治区長に裁量を持たせる等、簡単な方法があると良いと思う。
- ・ 活動を4月から始めたい場合、事前承認の制度はあるものの、資金の担保がないまま5月の交付決定まで活動するのは不安が大きい。
- ・ 募集や審査を前年度中に行う地域もあるので、参考になると思う。
- ・ どのような事業が対象になるのかわかりづらく、PRが難しい。
- ・ 継続性や将来性がない事業は対象にならないことを考えると、団体にとっても気軽に申請しづらいのではないかな。
- ・ 交流館の自主サークルにPRできると良いのではないかな。
- ・ 自治区長にも地域会議やわくわく事業を十分理解してもらう必要がある。
- ◆ 決定事項
 - ・ 今回の意見を踏まえ、次回以降具体的な来年度のスケジュール、プレゼン方法等について検討する。

3 地域予算提案事業について

(1) 豊南地域の交通安全意識に関する調査（アンケート）について

アンケートについて、前回意見のあった修正部分について確認し、案のとおり送付することとした。

(2) 平成30年度地域予算提案事業について

以下、各部会の協議結果

【啓発部会】

◆ 子どもに向けた交通安全啓発（取組のふりかえり）

- ・ 小学校では、できるだけ低学年と高学年で内容を分けて実施できると良い。
- ・ 中学生には、警察の講話等、もう少し難しい内容で啓発できると良い。
- ・ スタッフは司会1名、補助1名程度で実施できる。
- ・ 取組実施時期は長期休暇前が適切だと思う。

◆ みどり線の啓発

- ・ ポスターはA2縦で作成し、マップはA3横のサイズで掲載する。
- ・ 掲載する写真は委員で分担して用意する。また、写真には人や車がなるべく映り込まないように配慮する。
- ・ 配布先は、原案の配布先に加え数か所を選定し、委員で分担して配布する。

【運動部会】

◆ 高齢者に向けた交通安全啓発

- ・ 配布する反射材は案のとおりとする。

◆ ハンドアップ運動

- ・ チラシの配布については案のとおりとする。

- ・東田自治区、緑ヶ丘自治区へは、隣接する丸山自治区、山之手自治区の各区長からチラシの配布等について相談する。
- ・各小学校区交通安全推進協議会にも、区長を通して説明できないか検討する。

【計画部会】

◆平成31年度からの防災事業について

- ・住民の防災・減災意識向上として、減災に関する現状把握とともに、自己診断アンケートの実施を検討する。
- ・マニュアルについては、自主避難場所から避難所に向かうまでの行動を、主に自治区の役員が確認するものにできないか検討する。
- ・その他、中学生にも避難所運営等で協力してもらえよう、育成することについても検討したい。

(終了)

次回開催日 平成31年1月17日(木) 午後6時30分から 豊南交流館